

2022シーズンの戦い方

2022年1月14日

トップチーム監督

西村俊寛

2021の振り返り

15チーム中最下位という現実

なぜか？

ポイントは3つ

①戦えていない

②戦術の効果が薄い

③一つになっていない

①戦っていない

- ・ロングボールが多い試合展開でセカンドボールを拾うための長い距離のスプリント（時速25km以上でスピードで走る）が少ない
- ・自陣深くで奪ってから長い距離をスプリントしてカウンターに出ていけない
- ・攻撃から守備、守備から攻撃の切替が遅い
- ・ヘディングをしっかりと競らない
- ・シュートブロックに逃げる
- ・球際で負けている
- ・球際で身体を張ってボールをキープできない

②戦術の構築をやっているが効果が薄い

- ・ 対戦相手の分析が明確ではない
- ・ 自チームの出来る事の把握が乏しい
- ・ 相手に対しての対策を1つしか準備していないので、その対策が上手くいかなかった時に手がない
- ・ 負けている時の対策が少ない
- ・ ボールを失うことが怖いのでバックパスの多様
- ・ 逃げの選択が多くなり、戦う気持ちがなくなっていく

③一つになっていない

- ・スタッフ間で共有する機会が少ない（全体ミーティングの少なさ）
- ・スタッフ間の協力関係
- ・メンバー構成を3つに分けたことによるレベル差、一体感の難しさ
- ・選手のコミュニケーション不足（信頼関係の構築から強みと弱みの把握と助言）

◆サッカーフィロソフィー

ひたむきに、

クレバーに、

ひとつになって戦う！

◆サッカースタイル

攻守の切替がリーグNo1の速さ

攻守において長い距離を繰り返し走れる体力

戦術を駆使して相手の弱点を突く

個の力に組織力をプラスして勝つ！

◆勝率を上げるために

①セットプレーの重要性

- ・得点率向上と失点率防止
- ・リスタートを速く行う

②クロスボールの重要性

- ・得点率向上と失点率防止

まずはベースを鍛えて

その上に戦術を落とし込み

勝負にこだわったサッカーの追求

ご清聴ありがとうございました。